※令和４年度以降入学生用

学校番号	３１９

令和８年度　教育科

教科	国語	科目	教育ゼミA国語	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	精選　論理国語（明治書院）						
副教材等	共通テスト＋センター試験　国語過去問題　現代文　平成３１～令和８年（尚文出版） 共通テスト対策　新しい第３の現代文　集中完答１１（尚文出版） 大学入試　国語対策知識問題演習〈共通テスト・私大対応〉（桐原書店） 完成　日本史文学史ノート　（啓隆社） グランステップ現代文　論理・文学・実用　２．５（尚文出版） 語彙力と読解力をつける現代文単語（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

教育ゼミA国語では論理的な文章と実用的な文章を教材として取り扱います。授業では、「社会」・「環境」・「経済」・「メディア」・「言語」などの幅広いテーマを学習します。読解力と知識を身につけるだけでなく、文章を正確に理解する能力を高めるとともに、論理的な思考力、考えを効果的に表現する力を身につけることを目標とします。そのためには言語感覚を磨き、語彙力を養成することが必要です。漢字の書き取り・読み取りを意識的に行うとともに、意味がわからない言葉と出会ったときは、辞書を引くことを心がけましょう。また、読むこと・書くことの単元の目標に合わせた言語活動も積極的に行います。効果的なインプット・アウトプットを目指します。

2　学習の到達目標

（1）実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
（2）論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、協働のなか他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
（3）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解するしている。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	・文章の構成や展開，表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることができる。 ・文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	社会行動 ［教材］ 「『家族の幸せ』の経済学」	a：文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて，資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 c：資料を読み解き、構成や要点を的確に把握しようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート
	哲学・認知 ［教材］ 「猫は後悔するか」 読むこと言語活動 「根拠を検討しよう」	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を身に付けている。 b[読]：根拠や批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 c：文章を批判的に吟味して理解を深めようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート 発表資料
	環境・科学 ［教材］ 「なぜ科学を学ぶのか」	a：文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 b[読]：文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、多角的な視点から評価している。 c：自分の考えを多角的に評価し、効果的な表現について吟味することができる。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	グループ評価
	技術・規範 ［教材］ 「AIと憲法的価値」 書くこと言語活動 「総合的に推敲しよう」	a：文章の種類に基づく効果的な文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b[書]：情報の妥当性や信頼性を確認しながら適切な根拠をそろえることができる。 c：信頼できる情報を集め、効果的な論理の展開で自分の考えを書こうとしている。	定期考査 レポート	定期考査 レポート	 レポート
	経済・資本 ［教材］ 「貨幣は言葉である」	a：情報と情報との関係について理解を深めている。 b[読]：異なる論点をもつ複数の文章を読み比べ、自分の考えを整理することができる。 c：複数の文章を的確に読み取り、自分の考えと照らし合わせようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
後期	都市・建築 ［教材］ 「変われ！東京」 「A 市マンション訴訟最高裁判決」	a：論理的な文章・実用的な文章の組み立て方を理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握することができる。 c：文章の要旨を捉え、的確に理解しようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート
	メディア ［教材］ 「多様化するメディア・ツールと子ども」 書くこと言語活動 「主張を支えるデータをそろえよう」	a：情報を重要度や抽象度などによって整理する方法について理解を深め使うことができる。 b[書]：情報の妥当性や信頼性を確認しながら適切な根拠をそろえ、より説得力のある主張を書くことができる。 c：収集したデータを効果的に使用して文章を作ろうとしている。	定期考査 レポート	定期考査 レポート	レポート
	言語 ［教材］ 「記号論への招待」	a：推論の仕方について理解を深め使うことができる。 b[書]：批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開をすること。 c：自分の考えを文章にし、より効果的に伝わるように推敲しようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート
	平等・制度 ［教材］ 「憲法への招待」 読むこと言語活動 「資料に合わせて結論を練る」	a：資料や文章を関連付けながら、的確に読み取ることができる。 b[読]：書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集，整理して結論付けることができる。 c：いくつかの資料を関連付けながら読もうとしている。	定期考査 発表資料	定期考査 発表資料	発表資料
	近代・現代 ［教材］ 「『である』ことと『する』こと」	a：文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b[読]：設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを深めることができる。 c：これまで養った文章を読み取る力をもとに、複数の資料から自分の考えを広げようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　１０　）時間

・書くこと　…　（　２５　）時間

・読むこと　…　（　３５　）時間